

2024年5月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

適切ではないと思う身だしなみ、「肌の露出の多い服装」が45.7%で最多
2021年の調査時と比較すると、いずれの選択肢も選択割合が大きく減少

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2024/05/01～2024/05/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2024/05/02～2024/06/05（35日間）

調査方法

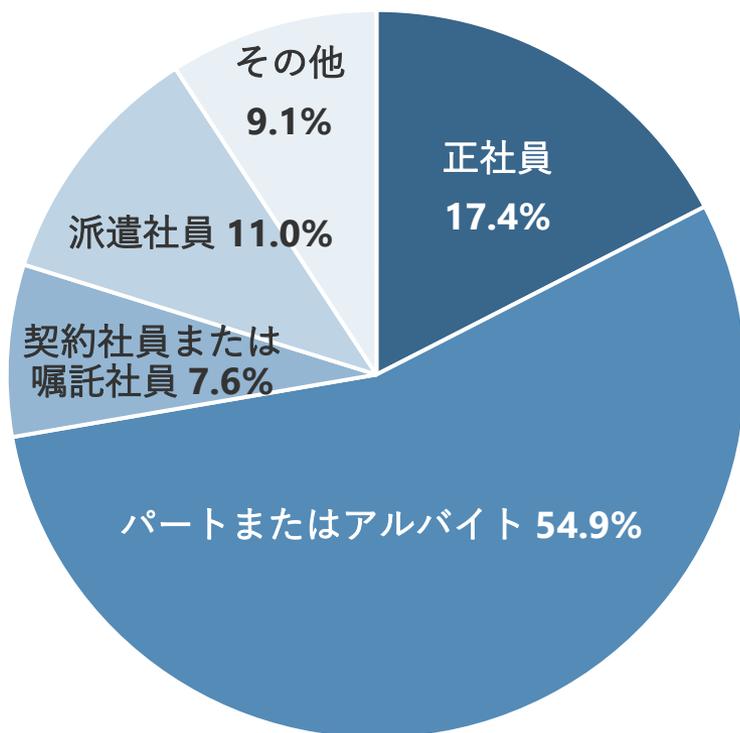
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

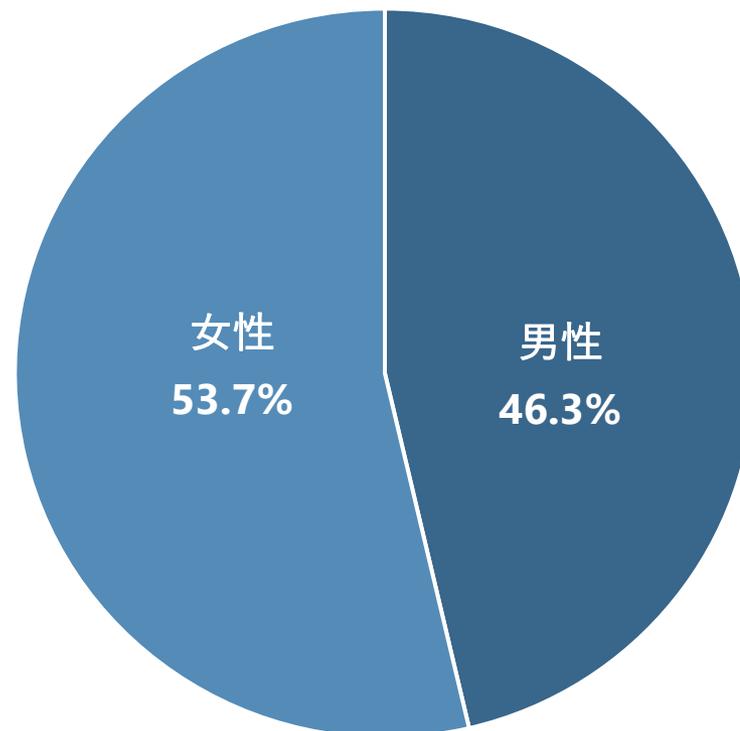
- ▶328件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



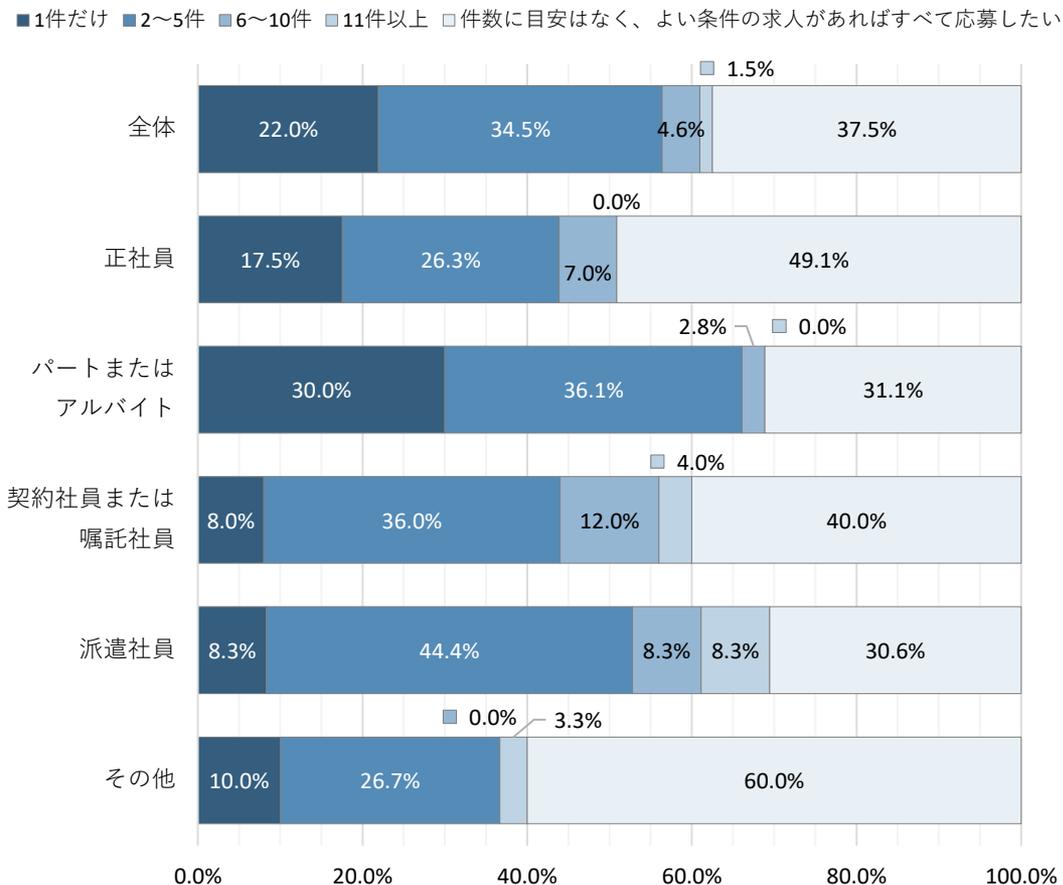
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「件数に目安はなく、良い条件があればすべて応募したい」が最も多く37.5%、次いで「2～5件」が34.5%、「1件だけ」が22.0%、「6～10件」が4.6%、「11件以上」が1.5%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は8割程度となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、良い条件の求人があればすべて応募したい」の割合は49.1%で最も多く、約半数は目安を設けていないことがわかった。「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が36.1%、「1件だけ」が30.0%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

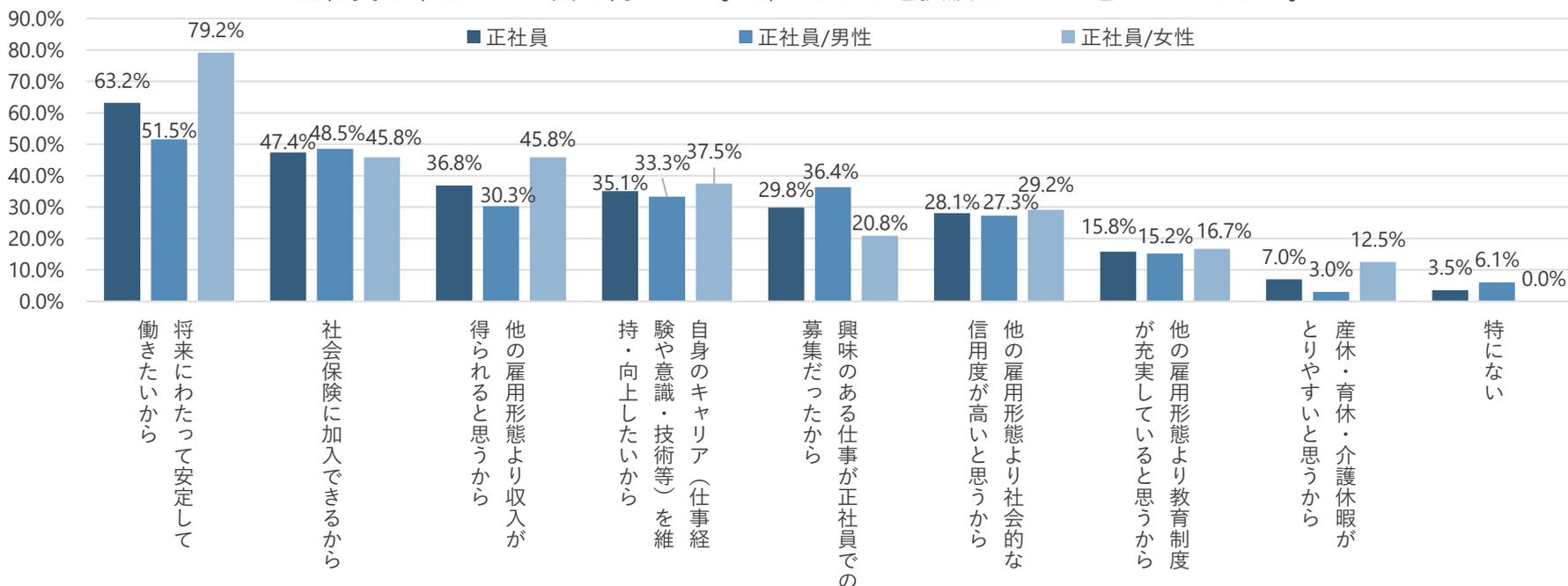


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最高値となったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が63.2%、次いで「社会保険に加入できるから」が47.4%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が36.8%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「興味のある仕事为正社員での募集だったから」が15.6pt高くなった。雇用形態よりも仕事内容を重視して仕事探しを進めていた人が女性より多かった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が27.7pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が15.5pt、「産休・育休・介護休暇が取りやすいと思うから」が9.5pt高くなった。特に「将来にわたって安定して働きたいから」は79.2%が正社員を希望する理由として選ばれていることから、安定した雇用形態として支持されているようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



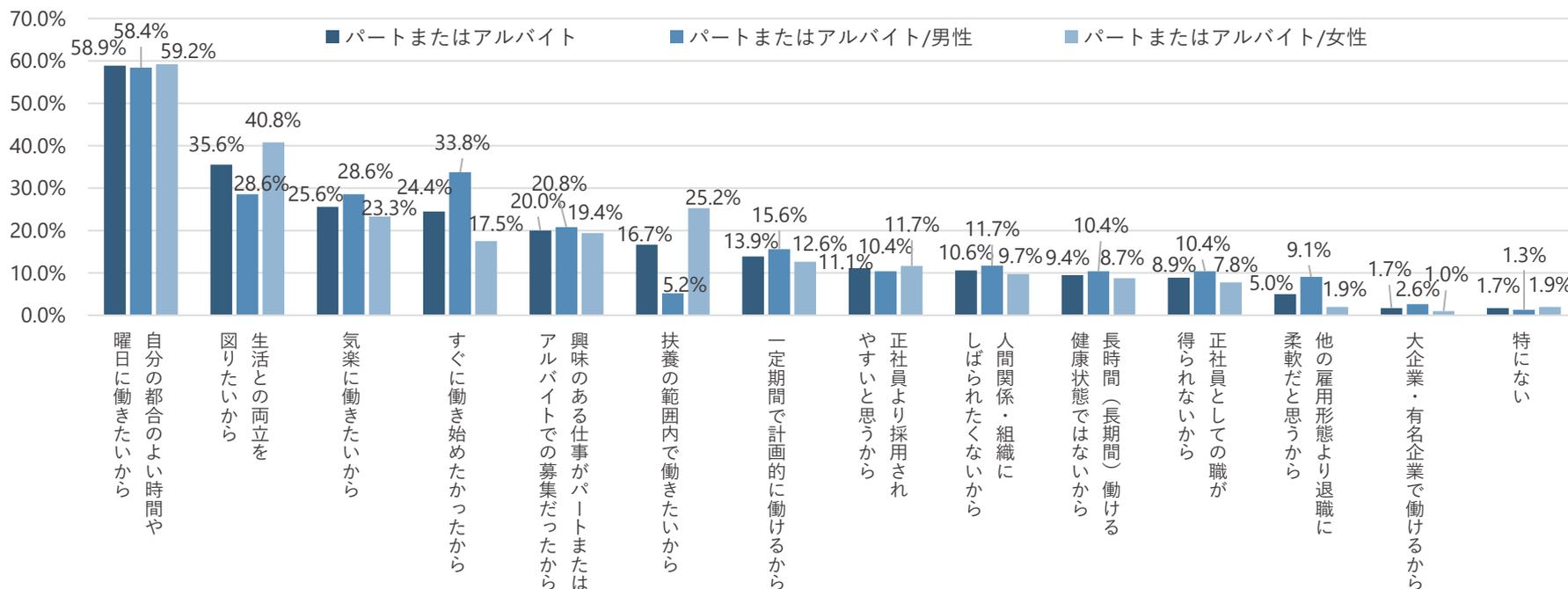
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で58.9%、次いで「生活との両立を図りたいから」が35.6%、「気楽に働きたいから」が25.6%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始めたかったから」が16.3pt、「他の雇用形態より退職に柔軟だと思うから」が7.2pt高くなった。取り急ぎ仕事を始めたい状況の人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が20.0pt、「生活との両立を図りたいから」が12.2pt高くなった。家庭の仕事との兼ね合いでパートタイムを希望していたり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いことがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

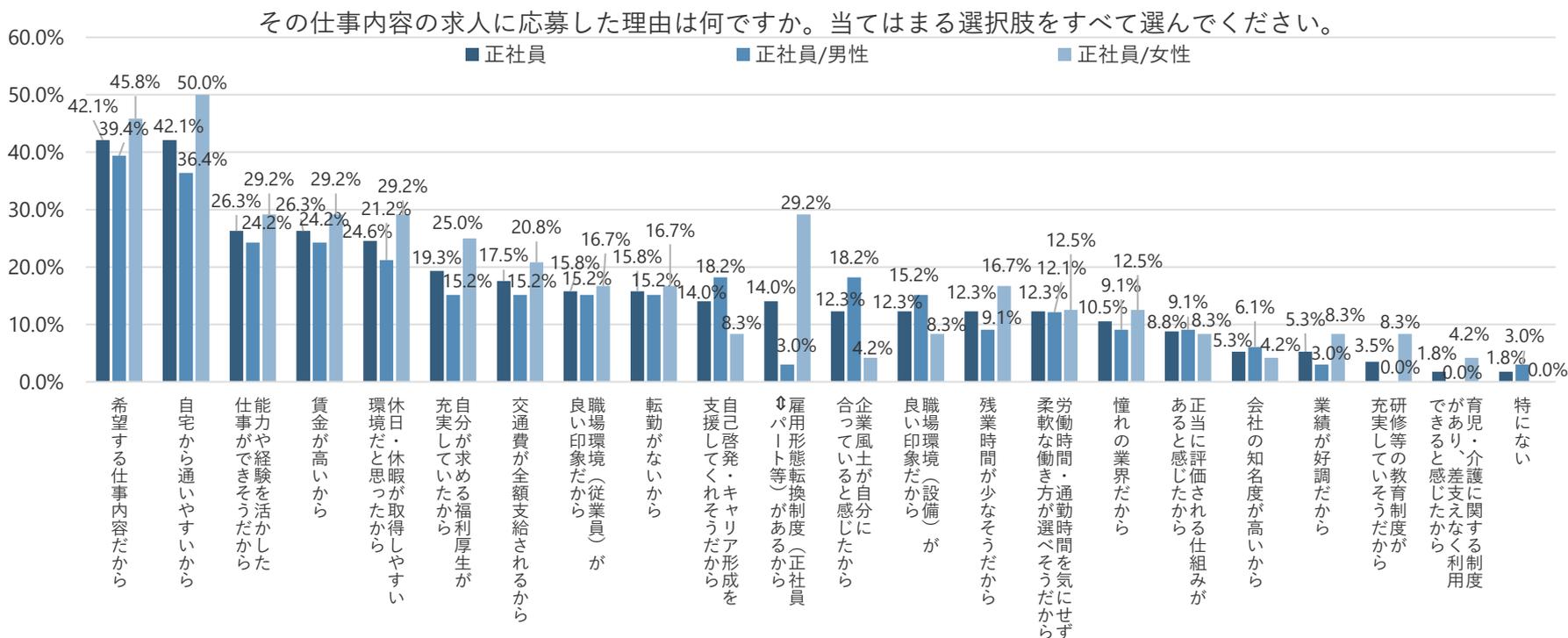


求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「希望する仕事内容だから」と「自宅から通いやすいから」が42.1%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が26.3%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「企業風土が自分に合っていると感じたから」が14.0pt、「自己啓発・キャリア形成を支援してくれそうだから」が9.9pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が6.9pt高くなった。職場の居心地や、将来を見据えた支援に共感が集まっているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「雇用形態転換制度（正社員⇄パート等）があるから」が26.2pt、「自宅から通いやすいから」が13.6pt、「自分が求める福利厚生が充実していたから」が9.8pt高くなった。様々な制度の整った企業での就業を希望する人が、男性よりも多いようだ。



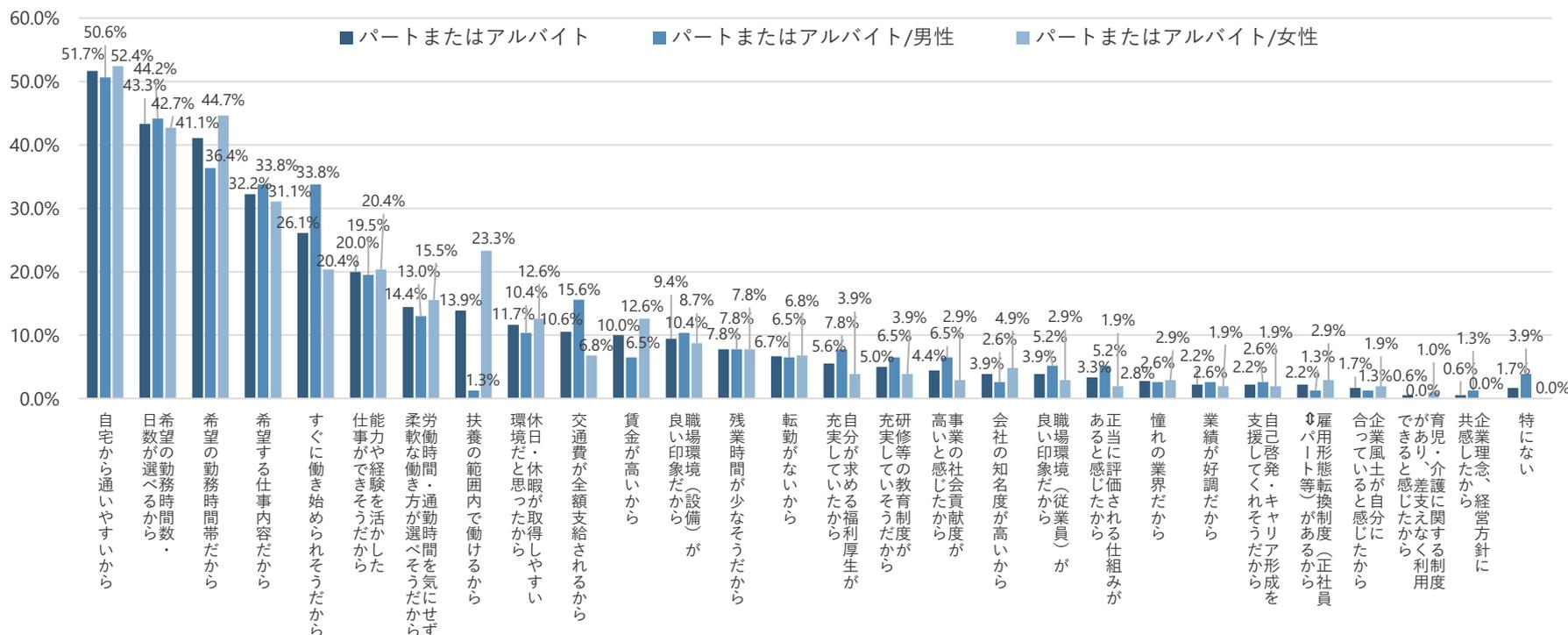
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で51.7%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が43.3%、「希望の勤務時間帯だから」が41.1%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が13.4pt、「交通費が全額支給されるから」が8.8pt高くなった。「すぐに働きたい」という声は雇用形態を希望する理由でも女性より多くなっていた（P6）。「男性」で「パート・アルバイト」を希望する人では、働き始められる日が選考から近いほど応募が集まるかもしれない。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が22.0pt、「希望の勤務時間帯だから」が8.3pt、「賃金が高いから」が6.1pt高くなった。就業時間帯や収入の条件に合った職場を探している人が多いようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

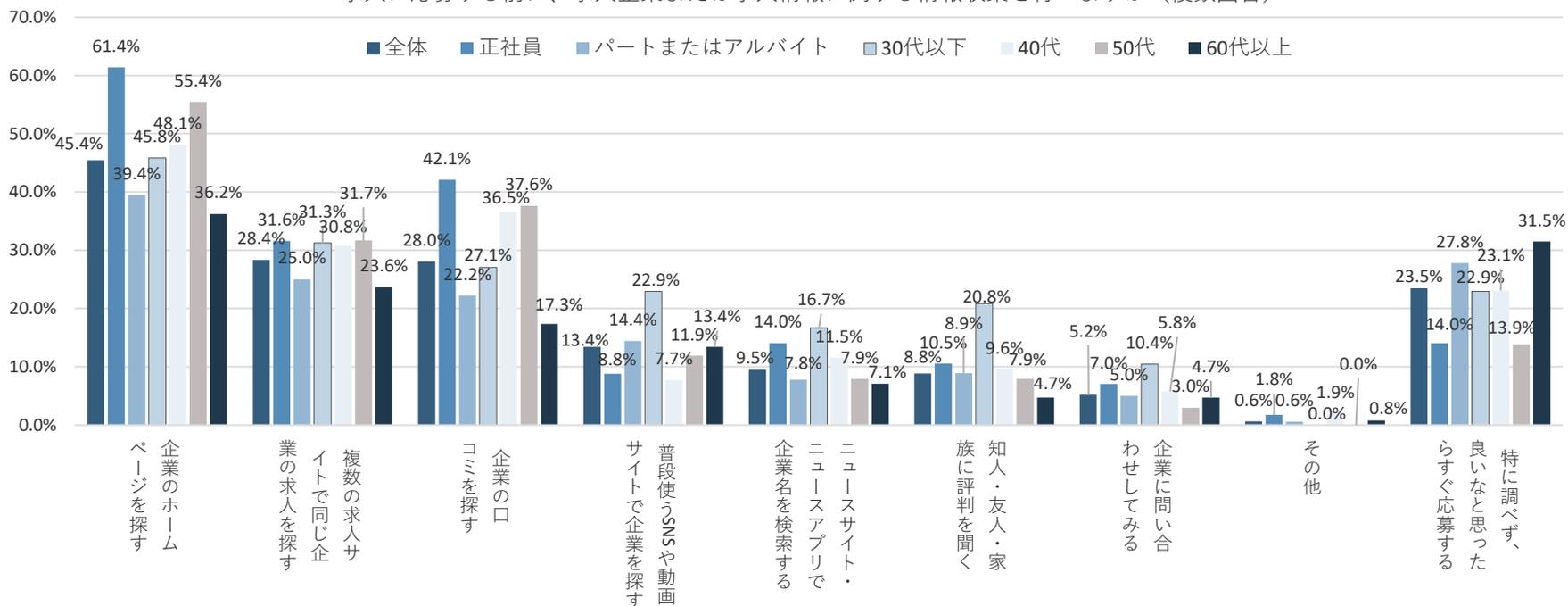


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集をするかどうか聞いた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が45.4%で最多、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が28.4%、「企業の口コミを探す」が28.0%となった。「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」人は23.5%で、8割弱の人は事前に何らかの情報収集をするようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「企業のホームページを探す」が61.4%と半数以上となっている。その一方で「普段使うSNSや動画サイトで企業を探す」事はあまりしないようだ（8.8%）。一方「パートまたはアルバイト」を希望する人では、「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が27.8%で、約3割は情報収集する前に応募にうつるようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「知人・友人・家族に評判を聞く」が20.8%で、周りの誰かの意見も参考にしておきたい様子が見ええる。「60代以上」では「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が31.5%で、応募まで早い人が多かった。

求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか（複数回答）

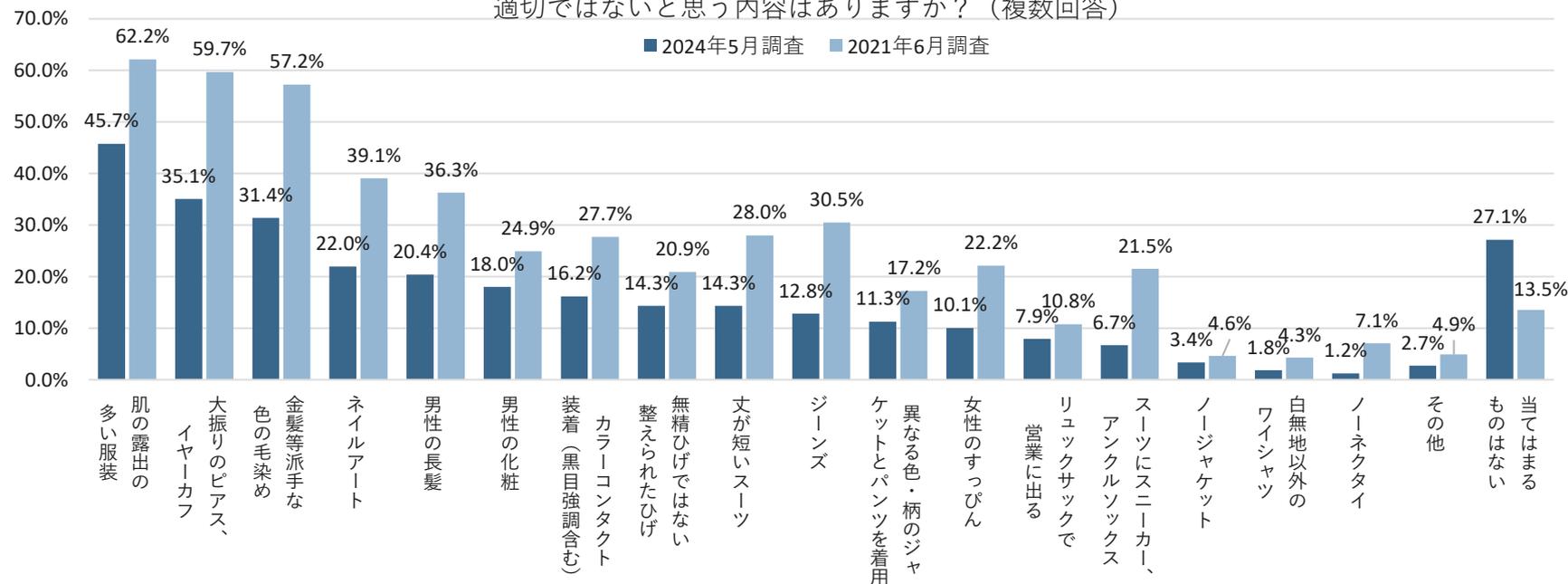


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、勤務時の身だしなみで適切ではないと思うことをきいた（複数回答）。また、同様の質問を2021年6月調査時にも行っており、過去と比較してどんな変化があったかをみた。

適切ではないと思う身だしなみとして最も多かったのは「肌の露出の多い服装」の45.7%、次いで「大振りのピアス、イヤークフ」が35.1%、「金髪等派手な色の毛染め」が31.4%となった。「ノーネクタイ」（1.2%）や「白無地以外のワイシャツ」（1.8%）「ノージャケット」（3.4%）については、近年クールビズやオフィスカジュアルの浸透があつてか、ほとんどの人が気にならないという回答だった。

2021年6月調査と比較すると、いずれの選択肢も選択割合が大きく減少している。「肌の露出の多い服装」「大振りのピアス、イヤークフ」「金髪等派手な色の毛染め」に関しては、以前は約6割の人が適切ではないと考えていたが、軒並み半数近くまで減少している。「当てはまるものはない」を選んだ人は27.1%で倍増し、勤務時の外見に関して全体的に寛容になったようだ。

身だしなみについて、次のうち、働く中で嫌な気持ちになったり、適切ではないと思う内容がありますか？（複数回答）



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人情報に記載されている身だしなみに関する内容が、応募意欲にかかわるかどうかをきいた。

全体では、「応募意欲に影響はない」が多数を占めた。求人情報に記載されていると「応募意欲は上がる」身だしなみの表記で最も多かったのは「服装自由」で26.2%、次いで「髪型自由」の20.1%となった。服装に関しては全体の四分の一の意欲が向上することから、職場で厳しい条件がなければ、求人に記載することで新たな縁につながるかもしれない。

「応募意欲は下がる」身だしなみの表記として最も多かったのは「ひげOK」で18.0%、次いで「ネイルOK」の13.7%となった。ひげは、例えば食べ物を作る・運ぶといった業務では衛生上の懸念があり、ネイルは飲食業のほか医療・福祉職など、身体的な接触を伴う業務にも支障が出る場合が考えられる。

身だしなみについては、近年、多様性や個性を尊重する風潮もあり寛容になってきている。しかし、寛容な身だしなみが適さない職場や許容できない人も一定数いるため、一概に応募意欲の向上につながるわけではないようだ。

応募を検討している企業の求人情報に、下記のような身だしなみについての表記があった場合、その企業への応募意欲はどうなりますか？

